

## 「広域連携推進の指針（中部圏・北陸圏）」（素案）について

### 1. 広域連携推進の指針（中部圏・北陸圏）について

- 関西広域連合設立に当たり、平成22年(2010年)10月7日に県議会から「関西広域連合の設立後においても、引き続き、福井県、岐阜県、三重県との連携を深め、近畿圏、中部圏、北陸圏の結節点という地理的優位性を生かした施策を一層推進すること」との附帯決議を受けた。
- これに伴い、中部圏、北陸圏との広域連携の方向性を示すために、平成24年(2012年)10月に「広域連携推進の指針」を策定した(平成27年(2015年)6月、平成31年(2019年)3月に改定)。
- 次期指針の期間は、令和5年(2023年)度から令和8年(2026年)度の4年間とする。

### 2. 指針に基づく事業の評価

- 資料2のとおり

### 3. 指針改定の背景

- 社会情勢の変化
  - ・新型コロナウイルス感染症の流行による新たな価値観
  - ・地球温暖化による気候変動の加速
  - ・北陸新幹線金沢－敦賀間開業予定
- 歯止めがかからない人口減少
- 今後の大規模交通インフラの開通や大型イベントの開催予定について

年	内容	指針の期間
令和4年 (2022年)	第72回全国植樹祭 世界農業遺産認定	
令和5年 (2023年)	—	○
令和6年 (2024年)	北陸新幹線 金沢－敦賀間開業予定 新名神高速道路 大津－城陽間開通予定	○
令和7年 (2025年)	大阪・関西万博 第79回国民スポーツ大会、第24回全国障害者スポーツ大会 彦根城世界遺産登録(目標)	○
令和8年 (2026年)	安土城築城450周年 アジア競技大会・パラ競技大会(愛知県)	○
令和9年 (2027年)	リニア中央新幹線 品川－名古屋開業予定 ワールドマスターズゲームズ2027 関西	

#### 4. 現行の指針からの主な変更点

##### (1) 指針の名称変更

- ・対象の圏域を明確にするため、指針の名称を「広域連携推進の指針（中部圏・北陸圏）」とする

##### (2) 指針改定の背景を踏まえ、「広域連携の必要性」の記載を次のとおり見直し

- ・社会情勢の変化への対応
- ・地域活力の向上への対応
- ・近隣県との共通課題への対応

##### (3) 「連携施策の視点」に「中部圏・北陸圏との結節点である県北部地域の更なる振興」の追加

##### (4) 「中部圏・北陸圏と連携を進めていく分野と実施方針」の追加

- ・岐阜県、福井県との知事懇談会を踏まえ、新たな実施方針（世界農業遺産の更なる魅力発信に向けた連携、サイクルルートが所在する県市等での相互連携、木育・自然保育の推進に向けた連携など）を追加
- ・広域観光誘客の推進に向けて、新たな実施方針（広域連携 DMO との連携によるデータ収集および調査分析による可視化）を追加

##### ※連携を進める事業例

- ・国道 365 号の直轄権限代行の事業化に係る福井県との共同要請
- ・福井県、岐阜県との三県広域観光ループ  
など

#### 5. スケジュール

令和4年 12月15日 総務・企画・公室常任委員会報告（素案）

12月中旬～パブリックコメント

市町へ照会

令和5年 3月上旬 総務・企画・公室常任委員会報告（最終案）